

大阪市立水都国際中学校・高等学校 学校生活ガイドライン

第1章 総則

- 第1条 大阪市立水都国際中学校・高等学校は、教育基本法の本質に則り、学校教育法をはじめとする教育関係諸法令等に従って、学校を運営する。
- 第2条 この規程は、本校の教育目標である「社会に貢献する協創力をみがく」を達成するためのものである。
- 第3条 本校の教育に関わる人々は、日本国憲法等の法令・子どもの権利条約の遵守が求められ、各人の権利は保証される。またその権利は互いに尊重されなければならない。
- 第4条 本校は、教育目標のもとに、(1) Encourage (2) Engage (3) Empower を教育の柱として設定し、資質・能力の伸長を意識した教育活動が構成されている。
- 第5条 「学校生活ガイドライン」を通して、第4条で示した教育活動を、本校の生徒が安心して学ぶことのできる環境を構築する。
- 第6条 生徒指導の重点目標として、次の「目指す生徒像」を掲げている。
- (1) 自己調整力に優れた生徒
 - (2) 公共心に満ち溢れた生徒
 - (3) 「自由」を互いに尊重できる生徒。

第2章 法律や市の方針によって定められている事項と本校の生徒指導対応チャート

- 第1条 水都国際中学校・高等学校における生徒指導は、大阪市教育委員会によって示されている生徒指導方針に準拠する。生徒の問題行動発生時における学校として必要な対応については、以下の通りである。

レベル	問題行動例	対応例
I	無断欠席・遅刻、反抗的な言動、授業をさぼる、学校施設の無許可使用等。	中学・高等部主任、管理職に報告し、担任・学年が把握し、注意・指導を行う。
II	攻撃的な言動・軽度の暴言、軽微な賭けごと、軽微な授業妨害、軽微な器物破損、授業をさぼって校内でたむろする、試験時の不正行為等。	管理職・Well-Being部(担当)を中心とする学校全体で共通理解を図り、指導・改善を行う。状況に応じて学校または個人(被害者)が警察に被害届を提出する。
III	暴言・誹謗中傷行為、脅迫・強要行為、暴力、軽微な窃盗行為、悪質な賭けごと、著しい器物破損、バイクの無免許運転、喫煙、著しい授業妨害等	警察や関係機関と連携して学校内で指導を行う。管理職が、関係機関と連携し指導計画を立て、学校で指導するとともに、保護者にも働きかけ、家庭でも指導する。教室での指導だけでなく、別室等を活用した指導を行い、問題行動の改善を促す。状況に応じて学校または個人(被害者)が警察に被害届を提出する。

		出する。
IV	重い暴力・傷害行為、重い脅迫・強要・恐喝行為、危険物の所持、違法薬物の所持・販売行為、窃盗行為、痴漢行為等。	教育委員会が主導的役割を担い、出席停止措置等を行うとともに、警察等と連携して学校外で指導を行う。教育委員会と連携し、中・長期的な指導計画を立て、継続的な対応を行う。状況に応じて学校または個人（被害者）が警察に被害届を提出する。
V	極めて重い暴力・傷害行為、極めて重い脅迫・強要・恐喝行為、凶器の所持、放火、強制わいせつ、強盗等	学校から外部機関に対応の主体が移るレベル。教育委員会と連携協議し、警察等、関係機関と学校の連携を図りながら指導する。

第2条体罰とは、非行・違法行為を行った生徒に対する懲戒の目的をもって行われる行為で、身体的性質を有するものである。体罰は、学校教育法により禁止されている。次に挙げる行為は、体罰に該当する。

1. 身体に対する侵害を内容とする行為（殴る・蹴る・叩く・投げ飛ばす等）
2. 肉体的苦痛を与えるような行為（正座・直立等特定の姿勢を長時間にわたって保持させる等）

第3条 生徒に対する懲戒には「法的効果を伴う懲戒」と「事実行為としての懲戒」の2種類がある。体罰を加える懲戒を行うことはできない。

第4条 懲戒処分を行うに当たっては、生徒自身及び保護者に事実関係について説明し、その説明内容に対する意見表明の機会を与えなければならない。

第5条事実行為としての懲戒は、注意、叱責、居残り、別室指導、家庭における指導、宿題、清掃、文書指導等がある。本校においては生徒指導主事による指導以降もなお、繰り返し行われる違反行為に対する「事実行為としての懲戒」例は以下の通りである。以下4点の懲戒を「特別指導」とする。

1. 校長訓戒…生徒に説諭し、反省を促す。原則保護者同席とする。訓戒後、学校、授業とも出席を認める。指導要録には記載しない。
2. 家庭における反省指導（3週以内）…学校から指定される教育活動（課題等）を実施する。原則として欠席扱いとする。指導要録には記載しない。
3. 学校における反省指導（3週以内）…学校内別室指導を実施する。学校から指定される教育活動（課題等）を実施した場合、出席扱いとするが、授業は欠課扱いとする。指導要録には記載しない。
4. 退学勧告…問題の程度が極めて深刻で、退学が相当と判断される場合に行う。指

導要録には記載しない。勧告自体に強制力はないが、勧告が拒否された場合は、停学又は退学の「法的効果を伴う懲戒」処分を行う。

第6条 「法的効果を伴う懲戒」とは、退学、停学、及び訓告の処分がある。これらの決定は、学校長の判断によるものである。 ※水都国際中学校・高等学校は併設型中高一貫校として位置づけられ、中学校においても「法的効果を伴う懲戒」が可能となっている。しかし、中学校においては「停学」の懲戒をすることはできない。

第7条 校長は、次の各項に該当する者に対しては退学を命じることができる。

1. 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
2. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
3. 正当の理由がなくて出席常でない者
4. 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

第8条 校長は、生徒に対して「事実行為としての懲戒」や「訓告」を行ってもなお改善が見られないと判断した場合、又は本校生徒としての本分に著しく反した行為を行ったと判断した場合は、停学とすることができる（中学校を除く）。

第9条 校長は、生徒に対して「事実行為としての懲戒」を行ってもなお改善が見られないと判断した場合、又は教育上必要があると判断した場合は「訓告」を行うことができる。

第10条 「特別指導」は、当該生徒が自ら反省し、保護者とともに指導内容等に同意し行う。

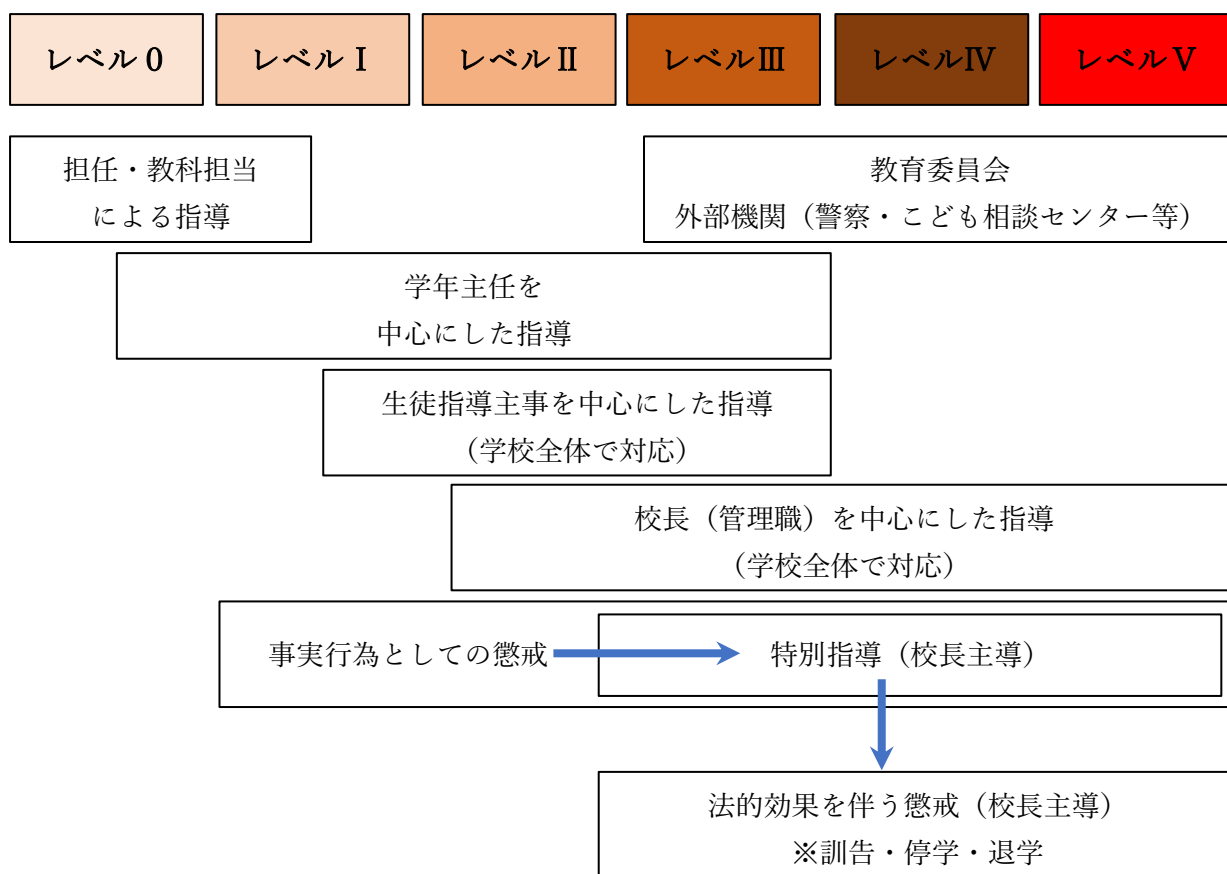
第11条 「特別指導」は、原則として生徒指導部・学年主任・担任等で審議し、職員会議で報告したうえで、校長が決定する。

第12条 「特別指導」の実施にあたっては、当該生徒及び保護者同席のうえで校長が指導内容や期間等を通知する。

第13条 「特別指導」を繰り返し行ったにもかかわらず、指導の効果が見られない場合、指導に従わなかった場合は、「法的効果を伴う懲戒」を行う。

第14条 謹慎等の解除は、担任・生徒指導主事により当該生徒の反省状況や指導の成果を十分に見極め、校長が行う。なお、必要に応じて保護者同席のうえ指導及び解除を行い、その後も継続した指導を行う。

《生徒指導対応チャート》



第3章 学校いじめ防止基本方針…別紙

第4章 学校生活に関する事項

第1条 遅刻

1. 始業時刻8時30分のチャイムの鳴り終わりまでに、着席しておく。それ以降の教室への入室は、遅刻とする。
2. 遅刻した場合、職員室に行き、教職員に報告する。

第2条 欠課・欠席

1. 授業始業時間から25分経過し入室した生徒は、その時間の授業を欠課とする。
2. 欠席する場合は、保護者から学校にさくら連絡網を通して連絡をする。

第3条 外出・早退

1. 始業時間以降、放課後までは原則として外出禁止とする。ただしやむを得ない場合は、外出許可証を発行し外出を認める。
2. 早退許可証を発行し認める。その際、保護者との連携を密にし、本人帰宅後直ちに学校に連絡するよう依頼する。生徒の体調不良による早退の場合は、原則として保護者に来校してもらう。

第4条 校外

1. 水都国際中学校・高等学校の生徒としてふさわしい言動・身だしなみを心がけ

る。

2. 自転車通学規定

2.1 自転車通学はポートタウンエリアに住んでいる生徒に限ります。

2.2 学校の敷地外では、道路交通法に従い、道路上での事故やトラブルを防ぐ。

第5条 身だしなみ・靴・カバン等

1. 校内校外問わず、水都国際中学校・高等学校の生徒としてふさわしい身だしなみを心がける。
2. 制服の着用に関しては、指定されたものを着用する。
3. 体育時…運動に適した服を着用する。
4. 身だしなみは、清潔感があるよう心がける。
5. 緊急時に自分の身をまもることができる靴を着用する。
(※サンダルタイプやヒールのある靴は、緊急時に危険を伴うことがある)

第6条 スマートフォン等の電子機器

1. 授業中における使用に関しては、教科担当教員の指示に従う。
2. 校内・校外においてもスマートフォン等の電子機器の使用は、公共のルールに従う。
3. SNS などのインターネット上のトラブルについては、法令等に従う。SNS 等の使用については、被害者にも加害者にもならないように心がける。

Guidelines for School Life at Osaka City Suito International Junior & Senior High School

Chapter 1: General Provisions

Article 1 Osaka City Suito International Junior & Senior High School shall be operated in accordance with the spirit of the Fundamental Law of Education and in accordance with the School Education Law and other education-related laws and regulations.

Article 2 The purpose of these regulations is to achieve the school's educational goal "to develop the ability to create and contribute to society".

Article 3 All persons involved in the education of the school shall be required to comply with the Constitution of Japan, other laws and regulations, and the Convention on the Rights of the Child, and the rights of each person shall be guaranteed. Each person's rights shall be guaranteed, and these rights shall be mutually respected.

Article 4 Based on the educational objectives, the school has established the educational pillars (perspectives) of (1) Encourage, (2) Engage, and (3) Empower, and educational activities are organized with an awareness of the development of each of these qualities and abilities.

Article 5 Through the "Guidelines for School Life," we build an environment students can learn peacefully at Suito Kokusai.

Article 6 The following "Aspirational Student Image" is the key goal for student guidance.

- (1) Students who can respect each other and work together with people who have different cultures, opinions, and values;
- (2) Students who have strong self-management skills, and can learn the rules and manners of a global citizen;
- (3) Students who participate actively in their school lives, including extra-curricular and community engagement.

Chapter 2: Legal and City Policies and the School's Student Guidance Chart

Article 1 Student guidance at Suito International Junior and Senior High School shall be in accordance with the student guidance policy set forth by the Osaka City Board of Education. In the event of a problematic student behavior, the school will take the following necessary actions.

Level	Problem behavior	Correspondence example
I	Unexcused absences, tardiness, insubordinate behavior, skipping class, unauthorized use of school facilities, etc.	This will be reported to the Head of Junior/Senior High School and the management, and the homeroom teacher and year group teachers will be made aware of the situation and take action.
II	Aggressive behavior, minor	The entire school, led by the administration and the

	verbal abuse, minor gambling, minor disruption of class, minor damage to property, skipping class to hang out in the school, cheating on exams, etc.	Well-being Committee (in charge), will share a common understanding and provide guidance and improvements. Depending on the situation, the school or the individual (victim) will submit a report to the police.
III	Abusive or slanderous behavior, threats or coercion, violence, petty theft, malicious gambling, significant damage to property, unlicensed driving of motorcycles, smoking, significant disruption of classes, etc.	The school will work with relevant agencies to provide guidance within the school. The administration, in cooperation with the relevant authorities, will formulate a guidance plan and provide guidance at school, as well as encourage parents to support their children at home. In addition to teaching in the classroom, we will use separate rooms to encourage improvement of behavioral problems. Depending on the situation, the school or the individual (victim) will file a report with the police.
IV	Serious acts of violence or injury, serious threats, coercion, or extortion, possession of dangerous goods, possession or sale of illegal drugs, theft, molestation, etc.	The Board of Education will take the lead role in suspending attendance and other measures, as well as providing guidance outside the school in cooperation with the police and other authorities. In cooperation with the Board of Education, formulate a medium- to long-term guidance plan and take ongoing measures. Depending on the situation, the school or the individual (victim) will submit a report to the police.
V	Extremely serious acts of violence or injury, extremely serious threats, coercion, or extortion, possession of a weapon, arson, indecent exposure, robbery, etc.	The level at which the subject of the response is transferred from the school to an outside agency. Collaborative discussions with the Board of Education and guidance from the school in cooperation with the police and other relevant agencies.

Article 2 Corporal punishment shall be an act of a physical nature that is administered for the purpose of disciplining a student who has committed a misconduct. Corporal punishment is prohibited by the School Education Law. The following acts fall under the category of corporal punishment

1. Acts that involve physical harm (punching, kicking, hitting, throwing, etc.)
2. Acts that cause physical pain (such as forcing a student to sit or stand upright for a long period

of time in a specific posture).

Article 3 There shall be two types of disciplinary actions against students: "disciplinary actions with legal effect" and "disciplinary actions as a matter of fact". Disciplinary actions that apply corporal punishment may not be taken.

Article 4 In taking disciplinary action, the student and his/her guardians shall be given an explanation of the facts and be given an opportunity to express their opinions on the explanation.

Article 5 Disciplinary actions may include warnings, reprimands, detentions, separate room instruction, home instruction, homework, cleaning, and written instructions. In our school, the following are examples of "disciplinary action as a matter of fact" for repeated infractions, even after guidance by the Well-being Leaders. The following four disciplinary actions are considered "special guidance".

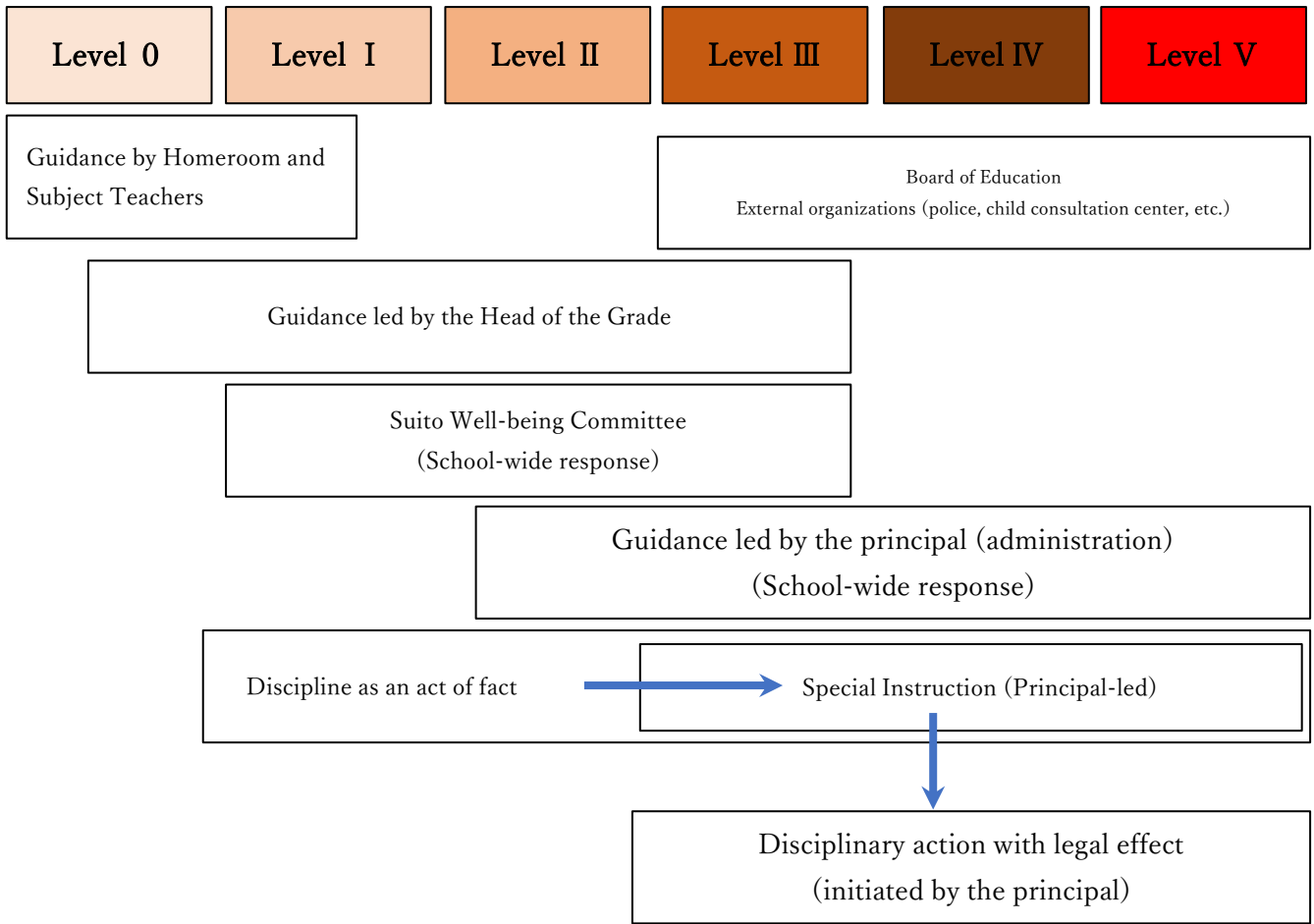
1. Principal's admonition: The principal will admonish the student and encourage him/her to reflect on his/her actions. In principle, the parent or guardian should be present. After the reprimand, the student is allowed to attend school and classes. This will not be recorded in the school record.
2. Guidance for reflection at home (within 3 weeks): Conduct educational activities (assignments, etc.) designated by the school. In principle, this should be treated as an absence. This will not be recorded in the school record.
3. Reflective guidance at school (within 3 weeks): Conduct guidance in a separate room at school. If the student engages in educational activities (assignments, etc.) designated by the school, the student will be counted as present, but will be counted as absent from class. This will not be recorded in the school record.
4. Recommendation for expulsion: This is done when a student's problems are so severe that expulsion is deemed appropriate. This recommendation is not included in the record of guidance. The recommendation itself is not enforceable, but if the recommendation is rejected, a "disciplinary action with legal effect" of suspension or expulsion will be taken.

Article 6 "Disciplinary actions with legal effect" include expulsion, suspension, and admonition. These decisions are at the discretion of the school principal. As Suito International Junior and Senior High School is positioned as an integrated junior and senior high school, "disciplinary action with legal effect" can be taken at the junior high school. However, disciplinary action of "suspension" is not allowed at the junior high school and will herein be referred to as "formal suspension".

Article 7 The principal may order the expulsion of a student who falls under any of the following items

1. Any student whose conduct is so bad that no improvement is expected.
2. Any student whose academic performance is inferior and who is deemed to have no prospects for success.
3. A student who fails to attend school without a valid reason.
4. A student who disturbs the order of the school or otherwise violates the student's duty of care.

- Article 8** The principal may formally suspend a student (except for junior high school students) when it is judged that there is no improvement in the student's behavior even after "disciplinary action as a matter of fact" or "admonition", or when it is judged that the student has acted in a manner that is extremely contrary to the student's nature as a student of this school.
- Article 9** The principal may issue an admonition to the student when the principal judges that the student has not improved after the disciplinary action or when the principal judges that it is necessary for educational purposes.
- Article 10** "Special guidance" shall be given after the student has reflected on his/her own actions and has agreed with the guardian on the content of the guidance.
- Article 11** In principle, the Well-being committee, grade level leaders, and homeroom teachers will discuss the "special guidance", and the principal will make a decision after reporting to the staff meeting.
- Article 12** When "special guidance" is implemented, the principal will notify the student of the content and duration of the guidance in the presence of the student and his/her parents.
- Article 13** In the event that, despite repeated "special guidance", the guidance is not effective, or if the guidance is not followed, "disciplinary action with legal effect" will be taken.
- Article 14** The principal shall lift the formal suspension after the homeroom teacher and the student guidance counselor have made a thorough assessment of the student's remorse and the results of the guidance. If necessary, the parent or guardian shall be present for the guidance and termination of the formal suspension, and the guidance shall be continued thereafter.



《Student Guidance Response Chart》

Chapter 3 Basic School Bullying Prevention Policy...See Appendix

Chapter 4 Matters Related to School Life

Article 1 Tardiness

1. Students must be in their seats by the end of the 8:30 chime. Entering the classroom after that time will be considered tardy.
2. If a student is tardy, he/she must report to the staff room before going to class.

Article 2 Absences

1. Students who enter the classroom 25 minutes after the start of class will be counted as absent for that class period. Anytime between the beginning of class and 25 minutes will be counted as Late Arrival.
2. If a student is absent, the parent/guardian must contact the school through Sakura Renraku.

Article 3 Going Out and Leaving School Early

1. As a general rule, students are not allowed to go out after school hours until after school. However, if it is unavoidable, a permission slip will be issued and the student will be allowed to go out.
2. Students will be issued a permission slip to leave school early. We will liaise closely with the parents and ask them to contact the school as soon as the child returns home, or to come to the school if necessary.

Article 4 Out of School

1. Students are expected to conduct themselves in a manner appropriate for a student of Suito International Junior and Senior High School.
2. Bicycle commuting rules
 - 2.1 Only students who live in the Port Town Area are permitted to ride to school.
 - 2.2 Skateboarding is not permitted outside of the school grounds.

Article 5 Clothing and personal appearance

1. Uniforms are expected to be worn as specified.
2. Appropriate footwear should be worn, footwear that would protect students in an emergency.
3. Students are expected to dress appropriately as a student of Suito International Junior and Senior High School, both on and off campus.
4. Students are expected to maintain a neat and clean appearance. (Hair, make-up, accessories, etc.)

Article 6 Smartphones and other electronic devices

1. Students shall follow the instructions of the teacher in charge regarding the use of electronic devices in class.
2. Students are expected to follow public rules when using electronic devices such as smartphones, both on and off campus.

3. Students are expected to follow the laws and regulations regarding the use of social networking services (SNS) and other Internet-related problems, and to avoid becoming either a victim or a perpetrator.